



ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）
〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21ふらっと内
電話：0857(22)0578 FAX：0857(22)0593
発行者 岡崎 周治

コロナウイルスの問題から学ぶ

鳥取県人権教育推進協議会会長 岡崎 周治

令和2年度がスタートしました。書面表決による評議員会を終え、今年度の活動計画と予算案も承認されました。今年度も引き続き同和問題をはじめさまざまな人権問題の解決に向けて、本県における学校教育、社会教育一体の人権教育を進めたいと思います。

現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、わたしたちがこれまで経験したことのない事態に直面しています。経済面では鳥取県内の多くの企業で売り上げの減少などの影響が出ているほか、外出自粛で観光地も大きな打撃を受けています。雇用面でも解雇や雇止めなどの増加数がリーマンショック時を上回ると言われ、非正規雇用やフリーランスで働く人たちにも大きな影響が出ています。

人権の視点での問題も多発しています。感染者やその家族、また昼夜を問わず最前線で検査や治療などで働いておられる医療従事者への偏見や差別は特に大きな問題として報道されています。憎むべきはウイルスであり、決して人ではありません。自分が、家族が、同僚が、近所の人が感染したら自分はどんな心構えでどんな行動をとるべきかをふだんから考えておくことも必要ではないでしょうか。また、長期間の自宅勤務や休校によるストレスから起こる家族間のDVや子どもの虐待、重症化しやすいと言われる高齢者の人権等も問題となっています。身近な人とのフィジカルディスタンス（ソーシャルディスタンス）を保ちながらも、相手を思いやる気持ちを大切にすることも必要でしょう。相手を傷付ける偏見や差別は決してあってはなりません。

今回の新型コロナ問題では、ふだん気づかない事に気づくこともありました。医療崩壊や貧困といった問題を今ほど身近に考えたことはありませんでした。また、保育、介護などケア労働の重要性、配送業やゴミ回収などの必要性を感じ、わたしたちにとって本当に必要で社会を支えてくれている仕事の大切さについて改めて気づかされました。

わたしたちは、正確な情報を入手し冷静な行動に努めることが必要です。また、これらの人権に関わるさまざまな問題から学び、自らの人権意識を高め、地域や学校での人権啓発・人権教育に生かしていくことがわたしたちに求められていることと考えます。

評議員会を書面表決で実施 全ての議案が可決されました

予定していた今年度の理事会と評議員会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、従来の形態での開催は困難となり、議案に対する書面表決をとるという形で実施しました。4月23日に各加盟団体へ評議員会議案書を送り、4月30日までに各議案に対して返事をいただいた全ての加盟団体より賛成の意志表示をいただきました。

よって、2019年度会務並びに事業報告、会計決算、2020年度事業計画(案)、会費・負担金(案)、一般会計・特別会計・基金会計予算(案)、2020年度～2021年度県人教役員(案)は全て可決されました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響による

今後の活動計画・予算の変更について

理事会及び評議員会(総会)で可決された今年度の予算と活動計画は、「第45回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会を、例年通りの内容で開催する」という前提でたてられたものです。しかし、1月に始まった新型コロナウイルス感染拡大は止まらず、全国に緊急事態宣言が出されるまでに深刻化、長期化の様相を呈しております。すでに、第1回企画運営委員会(4月28日)、第1回実行委員会(5月8日)、基調提案作成委員会(5月12日)が延期となっています。今後予定されている会合も開催の見通しが立ちません。このような状況での研究集会の開催は困難であるといえます。

鳥取県人権教育推進協議会の活動は、人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会の開催をメイン事業として様々な活動を行っています。鳥取県研究集会の開催が困難となると、承認をいただいた今年度の活動計画及び、会計予算について今後大幅な変更が予想されます。

また、各評議員さんからは以下のような貴重なご意見もいただいております。

- ・第45回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会については、新型コロナウイルス感染拡大が続いており収束が見通せない現状に鑑み、今年度の開催は困難ではないかと考える。また、関係機関の日程等を勘案すると、1年間の延期が適切と考える。
- ・大変厳しい状況の中ですが、第45回研究集会の開催について、どういう形で可能なのか、皆様と知恵をしまりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。
- ・県人教から緊急メッセージを出してほしい。

そこで県人教事務局は、「例年通りの開催は困難だが、可能な限りそれに代わる集会を実現したい」という考えのもと、下記のように現在、研究集会のあり方を検討しています。

変更内容については、決まり次第この県人だより「ふれあい」でも報告します。

第45回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会の開催について

○例年と同様の内容・夏の開催は難しい。

全体会で毎年約1,700名、各分科会の参加者も100名～500名の参加者が集う集会を例年と同様に開催することは困難です。長期的視野に立ち、今後の方針を慎重に検討しています。

○代わる集会のあり方を検討。

研究集会の目的「部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権尊重社会を実現する」を達成するために、どんな開催の方法があるのか、その時点での状況を考慮しながら検討しています。

○5月末をめどに決定。

遅くとも、5月末をめどに方向性を決定します。決まり次第各加盟団体にお知らせします

承認を受けた2020年度の活動計画

- 「第45回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の開催
- 市町村人・同推協等との連携
- 就学前・学校教育との連携
- (公社)全国人権教育研究協議会との連携及び「第72回全国人権・同和教育研究大会(新潟大会)」への参加、支援・協力
- 中国ブロック県人・同教との連携
- 調査活動の充実
- 会誌の発行

<事業計画>

1 第45回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会の開催

変更する
場合があります

- 期日 2020年 8月6日(木)
- 会場 全体会場 県立米子コンベンションセンター 多目的ホール
- 主催 鳥取県人権教育推進協議会
第45回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会

2 市町村人・同推協及び関係機関団体との連携強化

- 情報交換機関としての役割
- 市町村主催人権・同和教育研究集会(市・町民集会)との連携
- 「市町村人権教育行政関係者及び人権・同和教育推進協議会関係者研修会」
・会場 中部地区 ・時期 2月下旬を予定(人権文化センター研究発表会と調整)

3 就学前・学校教育との連携

- 人権保育並びに小中学校人権教育との連携
- 鳥取県高等学校人権教育研究会との連携

4 (公益社団法人) 全国人権教育研究協議会との連携

- 第72回全国人権・同和教育研究大会
期日: 10月31日(土)～11月1日(日) ⇨ 中止または次年度延期
会場 新潟県上越市
- 教育課題別研究会「創る つながる 切り拓く」
7月29日 京田辺市 ⇨ 次年度延期
- 「豊かな人権教育の創造」実践交流会
11月28日 神戸市 ⇨ 次年度延期

5 中国ブロック県人・同教との連携

- 第13回中国ブロック人権・同和教育研究大会 鳥取県鳥取市 10月3日(土)
- 第17回島根県人権教育研究大会 2021年2月

6 調査活動

- 市町村人(同)推協等の活動状況調査とまとめ(冊子にまとめ各市町村同推協等に配布)

7 会誌の発行

- 「人権問題学習その実践」第29集(発行予定 3月中旬) 50～60頁程度
掲載内容 ・学校教育、社会教育の実践
・第72回全国人権・同和教育研究大会(新潟大会) 県内報告者の報告概要と
県内司会者(実践報告協力者)の分科会概要報告

2020 年度 鳥取県人権教育推進協議会役員

※2020 年度～2021 年度の 2 ヶ年です。役員が交代する場合は残りの期間を任期とします。

役 員	名 前	所 属
顧 問	宇 山 眞	元鳥取県人権教育推進協議会会長
会 長	岡 崎 周 治	若桜町同和教育推進協議会
副会長	出 脇 敏 明	鳥取市人権教育協議会
〃	内 田 信 義	米子市人権・同和教育推進協議会
〃	相 見 楓 子	倉吉市人権教育研究会
〃	中 村 勝 治	境港市人権教育推進協議会
〃	西 村 一 秋	部落解放同盟鳥取県連合会
理 事	薮 田 邦 彦	八頭町人権教育推進協議会
〃	小 松 弘 明	琴浦町人権・同和教育推進協議会
〃	金 田 吉 人	大山町人権・同和教育推進協議会
〃	徳 田 章 人	鳥取県高等学校人権教育研究会
〃	田 中 朝 子	(公社) 鳥取県人権文化センター
〃	濱 垣 美保子	鳥取県国公立幼稚園・こども園長会
〃	村 岡 亜 樹	鳥取県人権保育連絡会
会計監査	国 岡 宏	智頭町同和教育推進協議会
〃	山 田 直 樹	湯梨浜町人権教育推進協議会

事務局	局 長 古 田 久 憲	次 長 細 井 実	書 記 西 尾 美 恵 子
-----	----------------	--------------	------------------

～新型コロナウイルス感染症予防のため～

一人ひとりでできる感染予防対策

○人と人が約2m離れば、飛沫感染防止で安心！

○三つの「密」を避けましょう

「密閉空間」「密集した場所」「密接した会話」

○みんなで予防に取り組もう

(鳥取県ホームページより)

緊急事態宣言が解除されても、わたしとあなたの命を守るために新しい生活様式を実践しましょう。



県人教事務局でもビニールで仕切りをするなどの工夫をしています。